

学校だより

第17号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和7年10月10日（金）発行
児童数 292名 実家庭227戸



令和7年度も折り返しの時期となりました

10月の生活目標は、「ものを大切にしよう」です

秋らしく過ごしやすいい日が増えてきました。学校の金木犀が、よい香りを漂わせています。

さて、学校は、本日、令和7年度前期課程の終業式を実施いたしました。4月からの半年間、様々な場面で子供たちの成長を感じることができました。来週から始まる後期の学校生活でも、子供たちが主役となって活躍できるよう支援して参ります。

夏休み明けから始まった水泳学習も昨日が最終日でした。保護者の皆様、水泳学習の準備、朝の健康チェック等、ご協力いただきありがとうございました。子供たちは意欲的に学習に取り組み、回を重ねるごとに、泳げるようになったり、長時間水に顔をつけたりすることができるようになりました。3年生以上は、水の事故の恐ろしさや万が一の時の対応についても学習し、着衣泳を実施しました。「慌てず、ペットボトルやスーパーの買い物袋などを抱えて浮き、救助を待つ」こういった体験は今後役に立つことでしょう。



ペットボトルやビニール袋を抱えて、力を抜いて・・・学年が上がるほど、上手に浮くことができていました。

【学校訪問指導】9月30日 10月7日

「？」が「！」になる授業を目指して

学校訪問があり、9月30日には茨城県水戸教育事務所から、10月7日には、ひたちなか市教育委員会から講師の先生がいらしてご指導いただきました。

7日は、市の方針で地域の皆様にも公開し、9名の地域の方が足を運んでくださいました。また、保幼小の連携の観点から、市内の6つの幼稚園、保育園にも授業参観のご案内をしたところ、9名の先生方が1年生の授業を参観し、小学生になってしっかりと授業を受けている子供たちの姿を見て、喜んでお帰りになりました。

講師の先生からは、一部教科担任制や5年生算数の習熟度別学習（現在5年生は2つのコースに分けて算数の学習を行っています）、子供たちが落ち着いて意欲的に学習に取り組んでいること、学校の雰囲気明るいいことについて、今後も継続してほしいとの助言をいただきました。さらに、魅力ある授業になるよう努力して参ります。



試行錯誤したり、意見の交流をしたり、タブレットを活用したりと工夫しています。